

令和6年 自己評価結果（ドットジュニア 蘇我 第3教室（放課後等デイサービス・児童発達支援））

厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」に基づいて定期的に自己評価を実施しています。

この自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見・ご要望をもとに、業務・サービスの改善をしていくことを目的としています。

	評価項目	利用保護者様からのご意見、ご感想 ＜アンケート調査：R7/6/29～R7/7/9＞	事業所の取り組み状況改善の方針等 ＜職員アンケート及び検討：R7/6/29～R7/7/9＞
環境・体制整備	訓練室等の適切なスペースの確保	・夏休み期間は、朝にもっと早く預けることができれば助かります。	ご家庭のご希望の時間に支援・送迎をさせていただけるように、可能な限り調整を行っております。 ただし、教室の送迎計画上、可能な範囲での対応となりますことをご了承ください。
	職員の配置状況		
	事業所内の安全対策		
	環境設備の衛生管理		
業務改善	業務改善を進めるための PDCA サイクル	・研修の実施をしているか等、詳細がわからない。	職員の資質の向上のための各種取り組みについては、随時実施予定を毎月発行している通信等でお知らせします。また、研修実施後には、学んだことをどのように支援に活かしていくかということもお知らせします。
	職員の資質の向上、研修の機会の確保		
	運営支援システムHUGの運用		
適切な支援の提供	適切なアセスメントの実施	・プログラム予定表の活動内容が毎回同じにならず、さまざまな体験ができるよう工夫されていると思います。 ・幼稚園の延長のような気がして、良くなっているのかよくわかりません。子供の特性に合った内容なのかよくわかりません。 ・滑舌の発達を促すようなプログラムを増やして欲しい。 ・夏の時期は色をつけた氷や寒天を使用した遊びなんかも楽しいと思います。 ・夏休みや祝日にマクドナルドとサーティワンに連れて行ってほしい。	日々の活動内容のねらいと、個別支援計画と照らし合わせたお子様の達成度を、送迎時やHUGでの支援記録にてお伝えします。また、支援の一貫性や質の確保を目的として、定期的に一人の児童に関して教室内で話し合いの場を設けます。その内容は普段の送迎時のフィードバックやモニタリングの際に保護者様に共有しつつ、より児童の特徴に合わせた支援を目指していきます。
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援計画の作成		
	適切な活動プログラムの立案		
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認		
	支援終了後の振り返り		
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		

関係機関や保護者との連携	サービス担当者会議の実施	・lineなので連絡しやすいのは助かります。 ・保護者の意見や希望を受け止めてくれる姿勢があると感じています。	今後もLINEを含め、随時お電話やHUGのメッセージ機能もぜひご活用ください。安心してご利用いただけるように、今後も素早く丁寧な返答を行ってまいります。
	学校との情報共有、連絡調整		
	子どもの発達状況や課題の共通理解		
	相談に対する必要な助言と支援		
	学校卒業時に他の障害福祉サービス移行等のサポート		
	事業所外の専門機関等との連携		
	ペアレント・トレーニング等の支援		
保護者への説明責任等	契約時の丁寧な説明（支援の内容、利用者負担額等）	・いつも質問や要望等に丁寧に対応して頂いています。 ・わからない。 ・個別支援計画に基づいた、支援の内容や方針について、丁寧な説明があります。	説明が至らない点があり申し訳ございません。教室の安定した運用に向けた取り組みにつきましても、通信等を活用しながら周知させていただきます。 また、保護者様に支援の様子を見ていただく機会もいままでもございませんでした。授業参観のような形でご覧いただく機会を確保しますので、開催日時が決まり次第、改めてご案内を差し上げます。
	苦情対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応		
	会報の発行等の事業所の情報発信		
	個人情報の適切な取り扱い		
	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮		
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定	・災害時や緊急時の対応について説明を受けています。 ・緊急時の対応について詳しく知らない。わからない。 ・防災訓練などが実施されています。	毎月発行している通信等で、教室で取り入れている非常時対応を周知いたします。また、各種マニュアルも可能な範囲で開示し、お子様を安心して通わせ続けることができるよう、広報を行ってまいります。
	緊急時対応の保護者への周知		
	定期的な避難訓練等の実施		
	虐待防止、身体拘束についての職員研修の実施		
	ヒヤリハット事例の事業所内共有		
満足度	子どもが通所を楽しみにしているか	・お弁当をスプーンとフォークを使って自分で食べられるようになった！手洗いが身についた。 ・室内よりか外で遊ぶのが大好きなので、公園へ行くプログラムがあるのが嬉しいです。 ・学習の遅れを援助されてない。 ・同じ程度の児童同士の一対一のロールプレイによるターン学習がなされていないため、我慢性がない。 ・本人が楽しんで行っているので安心しています。	・教室の環境設定は、みなさまからのご意見を踏まえつつ、個々のお子様の特性に応じて随時行って参ります。お子様ご本人とゆっくり会話をするなかで不安要因を1つ1つ取り除いていき、安心して通っていただける教室をつくってまいります。 - また、ターン学習につきましても、SSTとして取り入れてまいります。相手の意見を聞く力、自分の意見を言葉にして伝える力の向上にもつなげてまいります。貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。
	現状抱える不安や悩み		
	通所を開始して良かったこと		
	今後期待したいこと		